

教員を目指す大学生が酪農を体験

当センターでは、小中学校の教員を目指す京都教育大学の学生 17 名の体験実習を 9 月 26 日と 27 日に受け入れました。

学生は、乳牛が生後約 2 年で出産して乳を出す過程を学んだ後、出産の立会いや搾乳、子牛のほ乳などを体験しました。実習を終えた学生からは「人工授精や出産シーンは、講義では絶対に得られないリアルで貴重な体験だった」「命の大切さ、命をいただくことの大切さを今後の学校教育に活かしていきたい」などの感想や将来を見据えた決意が聞かれました。

「教員の立場から生徒に伝えて欲しいこと」をテーマにカリキュラムを組んだ今回の取り組みなど、乳牛を飼養する当センターだからできる体験学習やふれあいの機会を、今後も積極的に提供していきます。



出産に立会い、子牛の前足を引き分娩介助する学生



子牛の除角(角を焼きごてで焼く)
作業の見学